



南部町立南部中学校 学校だより 第5号

# 千一ム南部中

令和2年 6月23日 (火)

校長 望月和彦

## 生徒会活動が動き出しました！

例年だと、4月に学級や学年の組織がかたまり、5月には全校生徒が蒙軒ホールに集まって、生徒総会の中でその年の生徒会の活動方針が決まります。今年度は臨時休業のため生徒総会の実施が遅れ、新型コロナウイルス対策として、全校生徒が一箇所に集まることを避け、さらに授業を削らない新しい形での



生徒総会となりました。6月10日・11日の放課後、各クラスに生徒会事務局員（本部役員）が入って生徒総会議案書検討が行われました。



冒頭では、事前に録画しておいた遠藤楓乃生徒会長と私のあいさつ動画がTVで流され、その後、事務局員が生徒会活動の意義や目的、生徒会の活動方針についてパワーポイントを使ってわかりやすく説明しました。

私は、動画の中で次のような話をしました。

新型コロナウイルス対策の臨時休業のために、中学校生活は2ヶ月近くストップしていましたが、やっとのことで通常の学校生活に戻りつつあります。統合10周年を迎える本校の生徒会活動もここからスタートとなります。

生徒会活動は、自分たちが生活する学校を自分たちの力でより良い学校にしていく営みです。それは、皆さんがこれから長い人生を生きていく中で、とても大切なことです。なぜなら、皆さんは中学校を卒業しても、高等学校、大学や専門学校、職場、地域や町、県、日本という国、さらには国際社会という様々な社会や集団の中で生きていくこととなります。自分自身にとっての幸せ、周りの人々にとっての幸せ、全世界の人々にとっての幸せとは、どういう状態をいうのか。それを実現していくためには、どうしたら良いかを考え、自らの力で、また周りの人々と力を合わせて行動することが必要となります。生徒会活動はそのための訓練であり、皆さんにとって一番身近な学校という単位で、みんなの幸せを考え行動していく活動です。その意味で、生徒会活動は、南部中学校にとって授業と同じくらい大切な活動だと私は考えています。

生徒会事務局の8人は、臨時休業中もインターネットを使ってオンライン会議を行い、生徒総会に向けて、着々と準備をしていたという話を聞いています。今年度は今まで通りの生徒会活動はできないかもしれませんが、そうした状況だからこそ新しい生徒会活動を創り上げるチャンスでもあります。155人一人ひとりのアイデアと力を結集して、新しい生徒会活動を創り上げてください。期待しています。

学級討議の中では、「生徒会目標について」、「生徒会目標を達成するための3つの柱について」、「生徒会年間活動計画・委員会活動計画について」「会計決算・予算について」「身だしなみ自主規制について」「いじめ追放宣言について」などが事務局員から提案され、質疑応答がなされたあと、議案書の各議案についての賛成・反対・修正などの意見をクラスでまとめました。



そして、19日の放課後、生徒会事務局、各学級の代表、各部長や各委員長が出席する代表委員会が開かれ、その場で各学級から出された意見をもとに議案書についての討議・議決が行われました。3つの柱に対しては2つの修正案が出され、その理由の説明があったり、それに対する事務局の見解説明、他のクラスの意見が出されるなど、私は前半しか見ることができませんでしたが、より良い生徒会をつくるための真剣な話し合いがなされていました。

その結果、令和2年度の生徒会の方針が、次のように決まりました。

## 生徒会目標『自分と仲間の幸せを追求できる学校』

目標を達成するための3つの柱



- 仲間の成長のために→「個性を認め、相手の立場に立って考えられる南部中生」
- 集団の成長のために→「互いの成長のために関わり合い、喜び合える南部中生」
- 個の成長のために →「理想の自分を描き、努力できる南部中生」

155人がこの目標と柱のもとに、どんな具体的な事業や取り組みを行い、どんな成果を挙げてくれるのか、今からとても楽しみです。

## 授業も部活動も順調に



学校再開から一ヶ月が経とうとしており、臨時休業の遅れを取り戻すように各教科の授業も順調に進められています。できるだけ密接な対話や活動を減らしたり、生徒の自由な動きを制限したり、マスクを着用したり、様々な制限がかかる中での授業ですが、各教員が工夫しながら授業を進めています。英語科では、口元が見えないと正しい発音の仕方がわかりにくいので、教員がフェイスシールドを使うなどの工夫もしています。



休日の部活動も6月13日からは開始され、久しぶりに朝から元気なかけ声や楽器の音色が学校中に響き渡り、生徒たちの熱いエネルギー

ギーが感じられるようになりました。昨年度からお世話になっている石川啓一郎先生が今年度も部活動指導員として男子バスケット部を指導してくれています。

## 地域の方々や町のおかげで、快適な環境で生活できます

毎年、ボランティアグループ「みどりの会」の皆様が本校に「ゴーヤ」の苗を届けてくださいます。臨時休業中に職員でランチルーム南側に網を張り、苗を植えました。地球環境を考えながら、園芸委員の生徒の力を借りて育てたいと思います。



町や教育委員会のお力により、6月半ばに美術室、家庭科室、技術室にエアコンを設置していただきました。今年度は夏休みの短縮により、厳しい暑さの中でも授業をしなければなりません。コロナ対策のため教室の四隅を少し開け、換気をしながらの使用になりますが、快適な環境で学習できるようになりました。

